

公益社団法人日本青年会議所
スローガン

True Mind True Hope
幸せな未来へ

公益社団法人日本青年会議所
中国地区協議会 スローガン

ともに挑戦し
幸せな中国地区をつくる

公益社団法人日本青年会議所 中国地区
岡山ブロック協議会 スローガン

真の心で挑戦する
幸せな岡山の未来

公益社団法人岡山青年会議所
スローガン

行動連環

〔目次〕

- [1] 公益社団法人岡山青年会議所 2026年度 基本理念 基本方針.....
- [2] 公益社団法人岡山青年会議所 2026年度 理事長所信.....
- [3] 副理事長方針.....
- [4] 専務理事・常任理事方針.....
- [5] 委員長事業計画.....
- [6] 監事抱負.....
- [7] 公益社団法人岡山青年会議所 2026年度 委員会職務分掌.....
- [8] 公益社団法人岡山青年会議所 2026年度 年間公式スケジュール表.....
- [9] 公益社団法人岡山青年会議所 2026年度 組織図.....
- [10] 公益社団法人日本青年会議所 2026年度 出向者.....
- [11] 公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 2026年度 出向者.....
- [12] 公益社団法人日本青年会議所 中国地区岡山ブロック協議会 2026年度 出向者.....
- [13] 公益社団法人岡山青年会議所 2026年度 理事長セクレタリー.....
- [14] 公益社団法人岡山青年会議所 2026年度 役員選挙管理委員会 委嘱メンバー.....
- [15] 公益社団法人岡山青年会議所 2026年度 収支予算書.....
- (付) 公益社団法人岡山青年会議所 2026年度 理事長公職委嘱表.....
- 公益社団法人日本青年会議所 2026年度 組織図.....
- 公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 2026年度 組織図.....
- 公益社団法人日本青年会議所 中国地区岡山ブロック協議会 2026年度 組織図.....
- 公益社団法人岡山青年会議所 歴代理事長.....
- 公益社団法人日本青年会議所 JC宣言文.....

公益社団法人 岡山青年会議所 2026 年度

基本理念

人と人との環が絶え間なくつながることで多様な想いを共有し、互いに高め合い、成長し続ける岡山青年会議所として歩み続けよう。我々が一丸となって行動を起こし、市民と地域の未来を照らす灯となるべく、青年らしい高い志と大胆な発想で新たな一歩を踏み出そう。

基本方針

非効率に見える経験で得られる気づきや学びを尊び、ひとのため、まちのために行動できる人財となろう。伝統と感謝を胸に、人と人の環を紡ぎながら、高い志と若者らしい大胆な発想でおかやまの未来に貢献し続けよう。

郷土おかやまの持続的な発展のために、まず私たちが先頭に立ち市民から求められるまちづくりを体現しよう。関わる全ての人の意識が変わり、次の運動へとつながる。そんな好循環の起点となるべく活動を繰り返し広げよう。

様々な地域の他団体と連携し、互いの強みを活かし合いながら、切磋琢磨することで新たな価値や可能性を創出しよう。我々が先頭に立ち新たな一歩を踏み出すことで周囲を巻き込み感動を与えられる存在であり続けよう。

能動的に学び積極的に関わる姿勢と感謝と敬意を持ち、対話と理解を深めて一体感ある成熟した団体を目指そう。他 LOM との交流で視野を広げ、個人の成長と組織の成長が連環となって連動し、結束力の高い団体を目指そう。

組織の魅力を広く伝え、市民の皆様から理解や共感を得ることで未来を築く仲間の環を広げよう。メンバーが安心して活動に専念できる環境整備に注力し、岡山青年会議所を力強く支える土台となるべく活動に取り組もう。

【はじめに】

2026 年、昭和が幕を開けてから、100 年という大きな節目の年を経て、私たちは新たな時代の一步を踏み出しました。日本はこの 100 年間、戦争や高度経済成長、バブル経済、度重なる大規模災害、そして新型コロナウイルス感染症といった数々の試練に立ち向かい、そのたびに立ち上がり、歩みを止めることなく進化を遂げてきました。そうした激動の時代の中で、私たち岡山青年会議所は昭和 26 年、全国で 9 番目の青年会議所として設立され、本年度で創立 76 年目の歩みを刻んでいます。これは先人たちの努力と志、そして地域への深い愛情があつてこそ成し遂げられた成果です。

岡山青年会議所の設立趣意書には、「青年は人類社会発展の原動力」「郷土の産業経済的発展、日本経済の再建にたずさわる」「世界の青年と緊密なる提携のもとに平和に寄與」と記されており、今もなお、私たちの行動指針となっています。終戦直後の不安定な時代においても、未来を信じ、地域を想い、立ち上がった志ある若者たち。当時の青年たちが抱いていた動機や環境とは異なるかもしれませんが、しかし、彼らの信念と行動の精神は、時代が移り変わった今も私たち岡山青年会議所の中に確かに生きています。その意思を受け継ぎ、私たちが青年らしい高い志と大胆な発想力で時代に則した新たな価値として捉え直し、次の時代を切り拓きましょう。

今、私たちは新たな転換点に立っています。ものの豊かさが満たされた現代、求められているのはこころの豊かさです。多様な価値観が共存する社会において、自らの意思で生き方を選び取り、力強く、そしてしたたかに生きる力が必要です。また AI などの情報革命が急速に進む今、知的作業などは機械に置き換わり、膨大なコンテンツが目まぐるしい速度で生まれては消費されています。社会の仕組みそのものが大きく変化する中で、私たちに求められているのは誰かがやるのを待つのではなく、自分がやるという意思と一步を踏み出す勇氣です。目まぐるしく変化する社会の中で、正解のない時代を切り拓いていくために必要なのは一人ひとりの行動です。そしてその行動は、決して一人で完結するものではありません。

それぞれの一步が、誰かの勇氣となり、次の行動を引き出す。仲間の挑戦が、地域を巻き込み、未来を動かしていく。こうして起きる一連の行動がつながり合い、広がり、循環していくことで、大きなうねりとなり、岡山青年会議所、そして社会を前に推し進める力になります。常に挑戦する心を持ち、行動する意志をもち、互いにつながる力を信じて、次の 100 年を創っていくために、ともに踏み出しましょう、新たな一步を。

未来を変えるのは、私たちの行動です。

【ひとづくり室】～行動の環の連鎖を生み出すリーダーの創出～

岡山青年会議所は、不易と流行という両輪で、長きに渡りおかやまのまちを支えてきました。その根幹にあるのは、何よりもひとづくりです。近年では、タイムパフォーマンスといった言葉に象徴されるように、他者との関わりや時間の使い方に慎重になる傾向が見られます。岡山青年会議所においても、時代の流れとともに会員層が広がり、多様な価値観が共

存する組織へと進化してきました。そのような中で私たちは改めてひとづくりの本質と真剣に向き合わなければなりません。自分とは異なる価値観に触れることで感じる違和感、それは、避けるべきものではなく、自身の殻を破り成長するための貴重なきっかけです。自己開示を行い、相手を受け入れ、表面的なやりとりではなく本音でぶつかり合う、そうした膝と膝を突き合わす対話こそが、真の信頼関係を築き、志を共にする仲間と強い絆を育てる土台となります。これからの岡山青年会議所として、ひとづくりにさらに重きを置きながら、そこから生まれる気づきと学びを新たな行動へとつなげていきましょう。

学んだことを自分の中にとどめるのではなく、地域の未来のために行動へと変える。その一歩を踏み出す勇気と覚悟をもった青年の育成こそ、私たちの使命です。人とのつながりから挑戦が生まれ、挑戦からまた新たな成長が生まれる。その連鎖の原点は、すべて「ひと」にあります。たとえ時代や環境が変わろうとも、このひとづくりの精神と、それを行動に移す姿勢は、岡山青年会議所が未来へと受け継ぐべき不変の理念です。私たちはこの信念を胸に、地域と社会の未来を共に導いていきましょう。

【まちづくり室】～地域との環を広げ未来を動かすまちづくり～

芸術や文化、スポーツなど多彩な魅力で地域が盛り上がりを見せている反面、少子高齢化や人口減少の進行により、労働力や後継者の不足、地域経済の停滞といった深刻な課題も顕在化しています。特に、若者が地域で学び成長しながら主体的に関わる土壌や機運が十分に醸成されていないことは、まちづくりにとって大きな障壁です。多様な価値観の中で自分を肯定し、ありのままの自分を表現できる場をもつことは、若者の成長や地域社会の活性化に欠かせません。そのためにリーダーシップや問題解決能力、自己肯定感の育成、自己表現の機会創出といったことを積極的に学び、実践していきましょう。これにより、自分らしさを大切にしながら自信をもって行動し、多様な人々と協働して地域課題に取り組む力を養うことができます。岡山青年会議所を通じて学びと成長を促す環境を提供し、多様な課題に挑戦していただくことで、培った自発的な行動力をもとに、地域に新たな活力の連鎖を生み出すことが、これからのおかやまの「まち」を切り拓く鍵となるでしょう。今こそ若者が主体的に関わることでアクションを起こし、自由な発想と行動力で地域を動かすとともに、自己肯定感を高め、自己表現の場を広げながら、地域を支える仕組みづくりを構築してまいりましょう。

岡山市は人口 70 万人を超える中核都市であり、商業・医療・教育などの高度な都市機能と豊かな自然環境が調和した魅力あふれるまちです。この特色をさらに活かし、新たな価値を創出するためには、異なる分野を組み合わせることで生まれるオリジナリティや斬新な発想が、新しい可能性を切り拓く鍵となります。私たちは、地域の課題を解決する事業に取り組むだけでなく、岡山市のもつ魅力や強みを見つめ直し、それらをさらに伸ばし育てていく必要があります。地域の良い部分を大切にしながら、新たな挑戦と成長の機会を創出することが、まちの持続的な発展につながると信じています。私たち青年が未来に夢を抱き、将

来のおかやまを担う若者に希望を示す運動や活動を展開していくことが重要です。そして、私たちの運動や活動に参加する人々には、ただ受け身で関わるのではなく、自ら考え、積極的に参加していただけるような、関わった人が次の行動を生み出す、アクションとリアクションの循環を起こせる運動や活動を共に創り上げていきましょう。

【連携室】～協働の環が連鎖することで結ぶ地域の力～

岡山青年会議所が地域の多様な団体と連携し、互いの強みを活かし合うことで、新たな価値や可能性を創出することができます。異なる分野で活動する団体との連携は、私たちにこれまでもち得なかった視点や知見をもたらし、まちづくりの新たなヒントや突破口を示してくれます。さらに、組織同士がつながることで、これまで交わることのなかった人々や地域層へのアプローチが可能となり、より多角的で深みのある運動へと発展させることができます。このような連携を積極的に行い、一団体だけでは実現し得なかった企画や取り組みが生まれ、相互の成長へとつなげていきましょう。その行動の連環の積み重ねこそが地域全体の活力となり、おかやまに新たな風を吹き込む原動力になると私たちは信じています。私たち若者の力で連携を深め、ともに運動を展開することで、単に私たちが牽引するという一方向的な関係ではなく、相互に補完し合う形で他団体間の連携を促進し、相乗効果を生み出すことができるはずです。さらに、こうした連携によって活動の輪を広げ、それぞれの団体が新たなつながりを持ち、次なる連携へとつなげていきましょう。その連鎖を生み出すために積極的に行動を起こし、岡山青年会議所の活動範囲や視野がさらに広がることを確信に変えていきましょう。

おかやまを代表する夏の風物詩「うらじゃ」は、幾多の夏を彩り続けることで、今や市民の心に欠かせない存在となりました。今日の「うらじゃ」があるのは、岡山青年会議所の枠を超えて、多くの人々の心を動かし、長年にわたって築き上げてこられた諸先輩方の努力の賜物です。私たちが所属している団体がこのまつりを創り、支え、未来へとつなげているということに感謝の気持ちと誇りをもって活動に臨みましょう。その誇りが、より一層の熱意と責任感を生み出し、「うらじゃ」を進化させる行動力となるでしょう。「共生と融和」というテーマのもと、異なる立場や背景をもつ者同士が互いに理解し尊重し合うことで、ひとつになれる場として育まれてきた「うらじゃ」。この精神を絶やすことなく次代へと受け継いでいくためには、単なる伝統的なまつりとして残すだけでなく、そのポテンシャルを最大限に活かし、おかやまの魅力ある地域資源として積極的に活用していきましょう。

【交流室】～交流の場を行動で彩り成長の絆を紡ぐ～

近年、参加が形式的になり、出席すること自体が目的化してしまう傾向が見られます。しかし、真に意味のある参加とは、ただ出席することではなく、その場で何かを学び、得ようとする能動的な姿勢です。そのためには、参加したくなるような魅力ある仕掛けや工夫を行うとともに参加する側も、自分の行動が組織を動かしている。という自覚をもち、積極的に

関わる意識をもつことが大切です。例会は、全会員が一堂に会する数少ない貴重な機会です。この場を単なる報告や連絡の場にとどめるのではなく、各委員会の課題や活動内容を共有、理解し合うことで、岡山青年会議所の運動や活動の目的と意義を再確認する場としましょう。そうすることで、会員一人ひとりが主体的に関与し、行動力をもって取り組むことで組織全体の一体感が高まります。そして礼儀と礼節を重んじて、設営や準備に尽力してくれている仲間への感謝と敬意をもつことで互いを尊重し支え合う文化こそが、組織としての成熟を促すアクションとなるでしょう。

岡山青年会議所の枠を超えて、他 LOM の会員と積極的に関わることは、会員一人ひとりの成長にとって大きな意義があります。外部との接点をもつことで、自分たちだけでは気づけなかった新たな価値観や課題に触れ、視野を広げることができます。そうした経験は、柔軟な発想や多角的な思考を育み、知識やスキルを超えた人間的な成長をもたらします。外部で得た学びや刺激を仲間と共有することで、会員同士の対話が生まれ、信頼関係がより深まります。共通の目標に向かって挑戦し、困難を乗り越える経験は、強い絆を築きます。一人では成し得なかったことも、仲間と協力することで実現可能になり、その成功体験が支え合う文化を育て、組織の強さへとつながっていきます。このようにして築かれた信頼と絆のもとで、会員が主体的に行動し、自身の成長と組織の発展に貢献していく。その積み重ねが、岡山青年会議所をより一体感のある、結束力の高い団体へと導いていきます。外とのつながりを通じて内なる結束を深め、個人の成長と組織の成長が連環となって連動していくこの好循環こそが、持続可能な活動の原動力となります。私たちの使命を果たすために、力を共に合わせて進んでいきましょう。

【総務拡大戦略室】～基盤を築き共感を呼び行動が仲間をつなぐ～

運動や活動の理念、魅力を広く発信し、同じ志をもつ新たな仲間を迎えることは、私たちの重要な使命のひとつです。地域課題の解決に挑む青年会議所の存在意義を広く伝え、共に未来を築く仲間の輪を広げていくことが、これからのまちづくりには欠かせません。とりわけ、会員の拡大は組織の活力そのものです。新たな仲間が加わることで、多様な価値観やアイデアが交差し、運動や活動の幅が広がります。また、担い手が増えることで一人ひとりが取り組める領域が広がり、より多様で質の高い運動や活動が可能になります。組織の成長が、まちの成長につながるのです。そのためにも、私たちの起こす行動に対して市民の皆様からの理解と共感を得ることが重要です。その共感の環の中から、新たな仲間との出会いが生まれ、より強固で力強い組織へと進化していける団体を目指しましょう。また、近年、SNS やデジタルメディアは多様な発信手段として欠かせない存在となっています。一方で、その取り扱いには個人のリテラシーやコンプライアンスが強く求められる時代でもあります。安心・安全な広報活動を行うために、一人ひとりの意識を高めるとともに、組織としての管理体制を強化していきましょう。そのうえで、SNS はこれからの時代において地域や人々とつながるための重要なツールであると認識し、積極的に活用していきましょう。新たな発信方

法や取り組みに挑戦し、より多くの共感と協力を得られるよう努めていくことが、私たちの使命です。多様な価値観が共存する現代において、組織全体の基盤強化と的確な情報発信は欠かせません。これらが連携して透明性と信頼性の高い組織を築くことこそが、岡山青年会議所がこれからも地域に必要とされ続ける鍵です。私たちが時代の波を捉え、地域と共に未来を創り出す行動の起点となりましょう。

岡山青年会議所は、一人ひとりの想いや行動が連なって生まれる運動や活動を通じて、地域社会の発展に寄与していく必要があります。そのために大切なのは、組織内部の規律と信頼を築くことです。法令遵守や情報管理、記録整備といったコンプライアンスを徹底することで、組織の透明性と信頼性を高め、会員が安心して活動に専念できる基盤を整えていきましょう。こうした誠実な組織運営の積み重ねが、行政や企業、市民との信頼関係を深め、より良い連携を生み出します。そして、その連携こそが持続可能なまちづくりを力強く前進させる推進力となります。私たちが築く規律と信頼の基盤は、全ての会員の行動を力強く支える土台となり、やがては地域社会の未来を形作る礎となります。組織の屋台骨を担う誇りを胸に、一歩ずつ着実に歩みを進めてまいりましょう。

【結びに】

「古きを温（たず）ねて新しきを知る」

これは四字熟語「温故知新」のもととなった孔子の言葉です。過去の出来事や先人の知恵に学ぶことで、今を生きる私たちが直面する課題に立ち向かうための確かな土台を築き、新たな意味や価値を見出すことができます。この精神こそ、まさに私たち岡山青年会議所の歩みを象徴するものです。私たちが76年目の新たなスタートを切ることができるのは長い年月にわたり、おかやまのまちに真摯に向き合い、情熱をもって行動を積み重ねてこられた諸先輩方の存在があったからに他なりません。この歴史があるからこそ、今この場所で、未来に向けた挑戦を語ることができるのです。私たちは、先輩方が築かれた礎の上に立ち、未来を担う者としての自覚と誇りをもち、一人ひとりが志を掲げ、自ら考え、そして行動を起こしていく必要があります。その歩みを敬い、学ぶ姿勢はまさに「古きを温（たず）ねる」ことであり、私たちは今この時代に必要な「新しきを知る」知恵と力を得ているのです。その一つひとつの歩みが連環のように今につながり、私たちに確かな道を示してくれています。だからこそ私たちは、ただ新しいことに挑戦し行動を起こすのではなく、これまでの歴史や伝統に感謝しながらも、76年目へと力強く歩を進め、次の時代を切り拓いていくという覚悟をもって臨まなければなりません。青年らしい前向きな姿勢、若さ溢れるエネルギー、そして行動力は、まちを動かし、未来を変える大きな原動力になります。そして、その力が真に発揮されるのは歴史とつながりを意識し、次代へと想いをつないでいくときです。岡山青年会議所で得られる学びや成長は、決してこの場だけにとどめるのではなく、それぞれが培った経験や志を、職場や地域、そして家庭といった身近な場へと持ち帰り、波紋のように広げていくことで、社会全体を変える力をもっています。その一歩が、私たち一人ひとりに託

されているのです。

40 歳までという限られた時間の中でも、私たちが生み出す運動や活動の可能性は無限に広がっています。岡山青年会議所では様々な人生経験や価値観をもった仲間たちが集い、それぞれの視点や経験を活かして活動に取り組んでいます。その多様性は組織に新たな風を吹き込み、豊かな連環を生み出すことのできる岡山青年会議所にとっての大きな財産です。共に切磋琢磨することで、私たちの運動はより力強く、大きく前進し発展していくことでしょう。

76 年目の一步を、確かな行動として踏み出すときです。変化を恐れず、仲間と共に挑み続けましょう。

ひとづくり室

副理事長方針

公益社団法人岡山青年会議所
2026 年度 ひとづくり室
副理事長 大塚 真弘

本年度、大北理事長よりひとづくり室副理事長という大役を仰せつかり、使命と責務の大きさを強く感じております。今一度、岡山青年会議所の原点である「ひとづくり」に真摯に向き合い「不易と流行」を誰よりも強く意識し、地域と社会の未来を創ってまいります。AI に代表される技術革新により様々な作業効率が飛躍的に伸長した現代社会においても「膝と膝を突き合わせる」ことの重要性は失われてはなりません。むしろ効率化の恩恵として、人と人とがぶつかり合うことでのみ磨かれる「ひとづくり」に充てられる時間が増えたと考えるべきです。効率と非効率の調和から生まれる稀有な時間に重きを置き、ときには敢えて時代に逆行するような活動を通して、多くの気づきや学びの機会を創出いたします。目の前の結果だけに捉われず、勇気を持って踏み出し挑戦する行動こそが、ひとのため、まちのために行動できる人財を育成することと確信し、郷土の発展に貢献できる行動の連鎖を生み出してまいります。今こそ新たな一歩を踏み出し、未来へ向け行動を起こしましょう。

最後になりますが特別会員、現役会員の皆様におかれましては一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

まちづくり室

副理事長方針

公益社団法人岡山青年会議所
2026 年度 まちづくり室
副理事長 竹中 広太

本年度、大北理事長より副理事長の職を仰せつかり、重責に身が引き締まる思いです。全力で大北理事長をお支えし職務にあたる所存です。

私たちが住み暮らす岡山は、昨今芸術やスポーツなど多彩な魅力で盛り上がりを見せ、交通の要衝であることや恵まれた気候から、住みやすく多くの可能性を秘めた魅力あるまちだといえます。一方で人口減少による労働者、後継者不足の減少や地域経済の停滞など、永続的な岡山のまちの発展を考えるうえでの深刻な課題も顕在化しています。今こそ岡山青年会議所が先頭に立ち、まちの魅力を最大限に引き出し、さらに進化させることのできる事業を行うことで、関わる全ての人々がより良い岡山の未来へとつながる「まちづくり」を考え実行できるよう運動を巻き起こしていきましょう。まちを想い、自らが当事者意識をもってアクションを起こすことで周囲の良いリアクションを引き出し、それがまた次の運動へとつながる、そんな好循環の起点となるべく、今こそ新たな一歩を踏み出し、未来へ向け行動を起こしましょう。

最後になりますが、特別会員、現役会員の皆様にはより一層のご指導ご鞭撻、ご支援ご協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

連携室

副理事長方針

公益社団法人岡山青年会議所
2026年度 連携室
副理事長 藤澤 謙

本年度、大北理事長より連携室副理事長という大役を仰せつかり、改めて重責を強く感じ、身の引き締まる思いです。大北理事長をお支えするとともに全力で職責を果たしてまいります。

本年度は、滝波常任理事と共に藤田委員長率いる「地域連携価値創出委員会」と、大川委員長率いる「うらじゃ委員会」を担当させていただきます。

岡山に存在する様々な他団体と連携し、互いの強みを活かし合いながら、新たな価値や可能性を創出していきます。岡山青年会議所が先頭に立ち連携の輪を広げることで存在感を示しながら、一団体だけでは成し遂げられないことを実現してまいります。また、おかやまを代表する夏の風物詩「うらじゃ」は昨年第30回という大きな節目を迎え、31回目となる本年度は新たなステージへ進んでいきます。青年らしい若さ溢れるエネルギー、行動力でまちを動かし時代を切り開いていきます。変化を恐れず行動し、おかやまの魅力的な資源としてつないでいけるよう全力で取り組んでまいります。今こそ新たな一歩を踏み出し、未来へ向け行動を起こしましょう。

最後に特別会員、現役会員の皆様におかれましては一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

交流室

副理事長方針

公益社団法人岡山青年会議所
2026年度 交流室
副理事長 青山 雅史

大北理事長のもと交流室担当副理事長という大役を拝命し、大変身の引き締まる思いです。大北理事長をお支えするのはもちろんのこと、他室との交流の起点となり、個人の成長と組織の成長が連環となって連動していく好循環を作っていきます。交流室としては安原常任理事と共に、二垣委員長率います例会委員会と、岸本委員長率います渉外委員会を担当させていただきます。

例会は、会員が一堂に会する数少ない貴重な機会です。岡山青年会議所の運動や活動の目的と意義を再確認する場として、会員一人ひとりが主体的に関与し、礼儀と礼節を重んじて、設営や準備に尽力してくれている仲間への感謝と敬意をもち、互いを尊重し支え合う場となる活動を積極的に行います。本年度は岡山ブロック大会の主幹LOMとなります。岡山青年会議所らしい不易と流行を意識した「おもてなしの精神」で設営をし、個人の成長と組織の発展に貢献していくことで、今まで以上に一体感のある結束力の高い団体を目指します。今こそ新たな一歩を踏み出し、未来へ向け行動を起こしましょう。

最後に、特別会員・現役会員の皆様方には一層のご指導ご鞭撻、ご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

総務拡大戦略室

専務理事方針

公益社団法人岡山青年会議所
2026 年度 総務拡大戦略室
専務理事 五十嵐 尚輝

本年度、総務拡大戦略室専務理事という大役を仰せつかり重責を強く感じております。大北理事長を全力でお支えすることに加え、誠実な組織運営を積み重ね透明性と信頼性の高い岡山青年会議所の中核として職務にあたる所存です。

総務拡大戦略室としてメンバーの活動から組織の魅力を広く知ってもらい、市民の皆様から理解や共感を得ることで同じ志をもつ仲間を会員拡大し、より強固な組織を構築します。そして未来を築く仲間の環の広がりにつながると確信しております。そのために既存の発信方法のみならず、新たな取り組みに挑戦し一人でも多くの協力を得られるような仕組みづくりを行いましょう。

また、組織内部の規律と信頼から始まり法令遵守・情報管理など当たり前に行うべきことを疎かにせず、徹底したコンプライアンスの元でメンバーが安心して活動できる環境整備に注力してまいります。そして皆が組織の屋台骨を担うことに誇りをもち活動することが岡山青年会議所の明日をつくるのだと認識し、今こそ新たな一歩を踏み出し、未来へ向け行動を起こしましょう。

最後になりますが、特別会員、現役会員の皆様におかれましては、より一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

ひとづくり室

常任理事方針

公益社団法人岡山青年会議所
2026 年度 ひとづくり室
常 任 理 事 杉 岡 裕

本年度、大北理事長よりひとづくり室常任理事という身に余る大役を仰せつかり、責務の重さを強く感じております。大北理事長をお支えするのはもちろんのこと、大塚副理事長と共に岡山青年会議所の原点であるひとづくりの本質と真摯に向き合い、そこから生まれる学びをもとに行動を起こし、地域と社会の未来につなげてまいります。

価値観の多様化やデジタル化の加速により、効率性や生産性を重視する風潮が強まっています。しかし、このような時代だからこそ、膝と膝を突き合わせた対話により相互理解を深め、本音をぶつけ合うことで生まれる絆と信頼関係は、他団体では成し得ない魅力となります。ともすれば無駄だと感じられる活動であっても、効率と非効率の調和から生まれる稀有な時間の中には必ず気づきや学びがあり、成長の機会へとつながります。人とのつながりから始まる連鎖の原点を信念に据え、地域の未来のために行動できる勇気と覚悟をもった人財を育成してまいります。今こそ新たな一歩を踏み出し、未来へ向け行動を起こしましょう。

結びになりますが特別会員、現役会員の皆様におかれましては、本年度もより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

まちづくり室

常任理事方針

公益社団法人岡山青年会議所
2026 年度 まちづくり室
常 任 理 事 堀 勝 之

本年度、大北理事長よりまちづくり室担当常任理事という大任を仰せつかり、光栄に存じますとともに、その重責に身の引き締まる思いです。竹中副理事長のご指導のもと、国司田委員長率いるこども未来育成委員会、臼田委員長率いるおかやま活性プロジェクト委員会と一丸となり、郷土おかやまの永続的な発展を実現すべく、時代の変化を見据え、まちの特色をさらに活かしながら新たな価値と可能性を創造する運動を展開してまいります。

近年、少子高齢化や人口減少の進行により、様々な課題が顕在化しており、社会の変化が著しい時代だからこそ、まちを想い、挑戦心をもって果敢にアクションを起こし、共感とリアクションの好循環を生み、関わる全ての人の意識を変革し、次なる運動へとつながる輪を広げていくために誠心誠意尽力いたします。岡山の魅力への視野を広げ、潜在力を再発見しながら、地域の希望となり続ける運動を力強く推進し、その起点として活動してまいります。今こそ新たな一歩を踏み出し、未来へ向け行動を起こしましょう。

最後になりますが、特別会員並びに現役会員の皆様には、より一層のご指導ご鞭撻、ご支援ご協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

交流室

常任理事方針

公益社団法人岡山青年会議所

2026年度 交流室

常任理事 安原 和宏

本年度、大北理事長より交流室担当常任理事という大役を仰せつかり、光栄に思うと同時に責任の重さを強く感じております。青山副理事長のご指導をいただきながら、二垣委員長率います例会委員会、岸本委員長率います渉外委員会と共に、交流の場から生み出される会員一人ひとりの意識改革について取り組んでまいります。

近年、様々な機会に対し、出席が目的となり出席率が減少傾向にあります。岡山の青年経済人が一堂に会する場として、参加する会員が、互いに何を与え何を得るかを意識した能動的に行動できる場を提供することで、会員一人ひとりが互いを尊重し合える組織づくりを目指します。

本年度は16年ぶりの岡山ブロック大会を岡山の地で開始することとなります。対内の交流だけでなく、他LOMや先輩方と積極的に交流することで得られる新たな知識をもとに、会員自身の成長は勿論、延いては岡山青年会議所がより強固な結束力をもつ組織になると確信しています。

最後になりますが、特別会員、現役会員の皆様におかれましては、より一層のご指導ご鞭撻、ご支援ご協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。今こそ新たな一歩を踏み出し、未来へ向け行動を起こしましょう。

総務拡大戦略室

常任理事方針

公益社団法人岡山青年会議所
2026 年度 総務拡大戦略室
常任理事 田中 康次朗

本年度、総務拡大戦略室 室長を拝命し、その責任の重さを改めて実感しております。大北理事長の掲げる方針のもと、専務理事の補佐役として総務拡大戦略室を牽引し、誠実に透明性の高い組織運営を支える一助となるべく、職務に邁進してまいります。

総務拡大戦略室におきましては、組織内部の規律と信頼を基盤に、法令遵守や情報管理などの基本的な取り組みを徹底し、メンバーが安心して活動できる環境づくりに努めてまいります。常任理事として現場を支えながら、一人ひとりが組織の土台を担っているという意識を醸成し、岡山青年会議所の強固な基盤づくりに貢献してまいります。また、メンバーの活動を通じて岡山青年会議所の魅力を広く発信し市民の皆様のご理解とご共感を得ることが、会員拡大への第一歩であり、結果としてより強い組織づくりにつながると確信しております。そのため、既存の発信手法に加え、新たなアプローチにも挑戦し、より多くの方に賛同いただける広報活動を展開してまいります。

持続的な成長と地域貢献の実現に向けて、一人ひとりが変化を恐れず、挑戦し続ける姿勢が求められています。今こそ新たな一歩を踏み出し、未来へ向けて行動を起こしましょう。

ひとつくり室

会員研修委員会事業計画

公益社団法人岡山青年会議所
2026 年度 ひとつくり室
会 員 研 修 委 員 会
委 員 長 大 塚 真 弘

本年度のひとつくり室では、AIに代表される技術革新により様々な作業効率が飛躍的に伸長した現代社会だからこそ、岡山青年会議所が大事にしてきた「不易と流行」を強く意識して活動してまいります。礼儀礼節を重んじ、利他の精神を持ち、心身を厳しく育てる、この誇り高き精神を胸に、明るい豊かな社会を創ることのできる人財を育成してまいります。

「ひとつくり」の基礎として、毎回の会員研修委員会を通して青年経済人としてのマナーや礼儀、考え方を身につけます。岡山の経済界、地域社会を牽引する特別会員である先輩、ときにはLOMの垣根を越えた講師をお招きしご講演いただくことで、青年会議所での活動の経験や、リーダーシップやフォロワーシップ、利他の精神を学ぶ機会を創ります。最初のプログラムでは、3分間スピーチを通して自己開示を行い、徹底的に自分自身と向き合うことで自己実現のためのビジョンを明確にします。2つ目のプログラムでは、団結して困難に立ち向かい、その過程でお互いに切磋琢磨することで、日常では決して得ることのできない友情と感動体験を創出します。最後のプログラムでは、LOMサービス事業の企画・運営を通じ、岡山青年会議所の事業運営の基礎を学び、おもてなしや利他の精神を体感し、困難の先にある大きな成長と真の友情を築いてまいります。また、研修プログラムだけではなく、日本青年会議所の事業にも積極的に参加し、多くの価値観に触れ、各地会員会議所会員との出会い、学びの場を創ります。さらに、LOM開催事業にも積極的に参加し、岡山青年会議所が担うまちづくりの役割を体感することで、まちのために行動できる人財を育成いたします。

研修プログラムの目的を明確にし、効率と非効率の調和から生まれる稀有な時間に重きを置き、ときには敢えて時代に逆行するような活動を通して、多くの気づきや学びの機会を創出することで、地域と社会の未来を担うことのできる人財を育成することを念頭に置き活動してまいります。今こそ新たな一歩を踏み出し、未来へ向け行動を起こしましょう。

まちづくり室

こども未来育成委員会事業計画

公益社団法人岡山青年会議所
2026 年度 まちづくり室
こども未来育成委員会
理事委員長 国司田 孝介

近年、地域のつながりが少しずつ薄れ、子供たちが地域の中で学び、成長する機会が減ってきています。身近な課題に気づき、自分たちの暮らすまちの未来について考えることは子供たちにとって欠かせない大切な学びの機会です。地域の未来を担う子供たちが、身近な社会課題や地域に目を向け、主体的に関わっていけるような環境づくりが求められています。時代の変化が早く、様々な社会課題に向き合っていく力がこれまで以上に必要とされています。

本年度のこども未来育成委員会では、子供たちが地域の中で学び、社会の課題と触れ合いながらまちの未来について考えられる事業を行います。問題解決能力、自己肯定感の育成、自己表現の機会創出、実際に体験ができ、積極的に学べる環境を創出します。自分らしさを大切にしながら自らが考え、行動する力を育んでいきます。まずは子供たちが参加をしたいと思える事業でなければなりません。そして、他団体や学校と連携することで、地域との環を広げ、より多くの人々とながら運動を起こすことができます。楽しみながら未来について考えられるような事業を目指して取り組んでまいります。また、私たちの暮らしは日々進化をし、技術やサービスの進歩によって、より便利で快適な生活が可能になっています。将来に向けた目標の立て方や日常の中にある判断力や計画力は、これからの時代を生きる子供たちにとっては欠かせない力です。しかし現状は、実生活に直結する力を学ぶ機会は限られていると感じます。本事業では、子供たちが社会の仕組みや暮らしの中で考える力を育てていきます。自分で考え、能動的に情報を集めることで、自分の未来の可能性を感じられるような場をつくっていきたいと考えています。

子供たちは、これからの社会や地域を創出していく未来ある大切な存在です。私たちは、他団体や地域の皆さんと一緒に子供たちの未来を支えていき、事業に関わる人も気づきや成長を感じることができる事業を実施します。今こそ新たな一歩を踏み出し、未来へ向け行動を起こしましょう。

まちづくり室

おかやま活性プロジェクト委員会事業計画

公益社団法人岡山青年会議所
2026 年度 まちづくり室
おかやま活性プロジェクト委員会
理事委員長 臼田 陽平

岡山の「まち」は中四国を代表する中核都市の一つとして発展し、交通網の発達により経済立地論における潜在的伸びしろは、非常に大きなものです。また、地元企業の継続的な努力によりスポーツや芸術面でも大きな盛り上がりを見せています。しかしながら、少子 高齢化や人口流出、企業の後継者不足等、中核都市ならではの成熟期が岡山の「まち」にも訪れようとしています。魅力ある強い岡山を目指し、都市への帰属意識を向上させることが重要であり、そのために、市民が主体的にまちづくりに参加できる環境が必要です。

当委員会では、今ある岡山の魅力を更に向上させることを重要な目標の一つとして設定しています。我々が暮らす地域の良い部分や岡山特有の強みを大切にしながら、新たな挑戦と成長の機会を創出することが、中核都市としての持続的な発展につながると信じています。多くの市民が岡山市民であることに信念やプライドをもち、「郷土おかやまへ」の所属意識を強くもつことは、人口減少の最大の抑止になると考えています。また、岡山の「まち」にある既存の様々な魅力を効率的に活用し、魅力同士のコラボレーションによる新たな事業を実施いたします。そのためには、まずは岡山の魅力を徹底的に調査し、県内、県外問わず、相乗効果が期待されるコラボレーションを青年経済人ならではの視点で考え、広く探し、事業を遂行する必要があります。また、社会問題とされる課題に向き合うだけではなく、青年が未来に夢を抱き、自己肯定感を育むことこそが、表現力の豊かで活力ある「まち」に成長していける秘訣だと確信しています。

我々の活動がきっかけとなり、岡山の「まち」に関わる全ての人々が受け身ではなく自発的に活動できるような環境を整え、岡山が日々活性化していけるように事業構築を行います。そのためには実施日限定の事業形態ではなく、市民の心情がどのように変化していくかを深く考え、未来の岡山の姿を想像しながら委員会活動を行っていきます。今こそ新たな一步を踏み出し、未来へ向け行動を起こしましょう。

連携室

地域連携価値創出委員会事業計画

公益社団法人岡山青年会議所
2026 年度 連携室
地域連携価値創出委員会
理事委員長 藤田 卓也

岡山のまちには、地域のために尽力する多くの団体が存在しています。岡山青年会議所は、これらの団体との連携をより揺るぎないものにすることができる可能性をもっています。地域全体の持続的な発展につながる相乗効果を生み出すためには、異なる分野や価値観をもつ団体同士が協力し合える場を創出することが必要です。多様な団体同士の強みや特色を組み合わせ、新たな価値を創出し、地域活性化と持続可能な発展へとつなげる活動を行っていかねばなりません。

当委員会では、多様な価値観が共存し、目まぐるしい変化が発生する現代だからこそ、他団体と協力を行うことで、まちや団体の新たな価値や可能性を創出します。そのために、岡山青年会議所の既存の協定先や、新たに連携をもつことのできる地域の団体と、互いの強みや特性を活かし合いながら事業を構築します。若者らしい斬新な発想や行動に加えて、異なる分野で活動する団体がもつ情報や知識を共有していくことで、今までにない視点や知見が生まれてきます。また、事業構築の過程において、人とのつながりも生まれ、それが他団体間の連携の促進にもつながり、相乗効果を生み出します。その結果、一団体だけでは決して成し得ることができない事業の実現や、相互の持続可能な成長の機会を創出します。岡山青年会議所が、他団体間との連携を先導して、地域のための取り組みを行うことの積み重ねこそが、地域全体の活力となり、岡山に新たな風を吹き込む原動力となります。そして、活動の環を広げることで、新たな環にもつながり、地域活性化の好循環を実現できると確信しています。

当委員会は一年間を通じて、産官学民と連携し、新たな価値を創出する事業を展開します。そして、岡山青年会議所が、まちにとって不可欠な存在であり続けるとともに、市民が主体的に地域と関わる基盤を作り、まちと市民をつなぐ架け橋となります。事業を通じて地域の活性化はもちろん、仲間と成長や喜びを共有できる活動とし、今こそ新たな一歩を踏み出し、未来へ向け行動を起こしましょう。

連携室

うらじゃ委員会事業計画

公益社団法人岡山青年会議所
2026 年 度 連 携 室
う ら じ ゃ 委 員 会
理 事 委 員 長 大 川 直 人

「うらじゃ」は、「共生と融和」をテーマに先輩諸氏の郷土おかやまへの想いと、未来への情熱により愛情をもって生み育て、継承されてきました。近年はコロナ禍の影響により、踊り連数や参加者が減少していましたが、徐々に回復の兆しが見えています。この流れをさらに進め、再び多くの市民と達成感や満足感を共有し、地域の一体感を生み出すことが重要です。その経験が、郷土おかやまの魅力や活力を再認識させ、次世代へつなぐ力となります。

2026 年の「うらじゃ」は、今まで以上に他団体や地域と連携を深め、様々な可能性を模索し、地域全体の賑わいと活性化に寄与するまつりとして進化させます。過去から継承されてきた伝統を時代に合わせて変化させ、郷土おかやまにさらなる賑わいを創出します。「うらじゃ」は、ただのまつりではなく、おかやまの文化、そのものです。「共生と融和」の精神を、次代に受け継ぐため、伝統にとどまらず、そのポテンシャルを最大限に活かし、地域資源として活用していく必要があります。市民一人ひとりが「うらじゃ」を通じておかやまの魅力を再発見し、地域と人々のつながりを深めることが、郷土おかやまの発展に寄与します。市民が共に作り、共に楽しむまつりとして、より多くの市民が積極的にに関わり、地域に一体感を生み出せるような事業にしていきます。特に、新たな視点やアイデアを取り入れることで、「うらじゃ」をより魅力的に進化させ、参加者全員が満足できるような環境作りを進めます。参加者が「また参加したい」と想える魅力的な「うらじゃ」を作り、うらじゃの魅力を広く発信します。また、参加者が感じた魅力を共有する仕組みを全国に広げ、おかやまの盛り上げを高めます。

私たち会員一人ひとりが未来のおかやまを思い描き、情熱をもって行動し、次世代を育むことで、「おかやま」の夏の風物詩を未来へ引き継いでいきます。郷土おかやまの発展という夢を実現できるよう、仲間と共に成長できる活動を進めていきます。今こそ新たな一歩を踏み出し、未来へ向け行動を起こしましょう。

交流室

例会委員会事業計画

公益社団法人岡山青年会議所
2026年度交流室
例会委員会
理事委員長 二垣 幸広

情報通信技術の発達により、あらゆる物事が指先一つで入手できる時代になりました。世間ではタイムパフォーマンスや生産性向上が叫ばれる中で、我々は40歳までの限りある時間を青年会議所活動に費やしています。先行きが不透明な時代だからこそ、明るい未来を切り開き、地域を牽引していく青年経済人を一人でも多く輩出する仕組みづくりの場が求められています。

本年度の例会委員会は、出席率という数字に拘ることは勿論のこと、誰もが能動的に参加したくなり、個人と組織の成長につながる機会提供を第一義として活動いたします。理事長が主催者である毎月の例会では、参加の仕方を今一度見つめ直し、心地よい緊張感と気品溢れるユーモラスから真に学びがある唯一無二の場を提供いたします。岡山ブロック協議会会長公式訪問例会では、活動への相互理解を深めることで、協議会とLOMとの結束、そして交流の環となるきっかけを創出いたします。企画例会では、青年経済人として身につけるべき教養やスキルを学ぶ場を提供することで、会員をより研鑽された成長へと導きます。第62回岡山ブロック大会式典では、来賓や特別会員をお招きし、岡山青年会議所にふさわしい「おもてなし」を体現するとともに、岡山ブロックの過去を振り返り、現在を見つめ直し、未来を紐解くことで、愛する郷土を次世代に紡いでいきます。特別会員・現役会員合同例会では、特別会員の方に感謝の念を抱き、現在の活動報告と次年度の活動方針をお伝えすることで、より効果的な活動の一助となる場を設営いたします。さよなら例会では、昭和61年生まれの卒業生に青年会議所活動における思い出や学びを次世代の会員に残りなく伝えていただくことで、より一体感のある組織へと昇華させます。

青年らしく高い志と大胆な発想をもち続け、絶えず異なる地域や世代と交わることで、物心両面の豊さを手に入れることができると確信しています。先人たちに敬意を払い、多様性を尊重し、共に切磋琢磨することで、今こそ新たな一歩を踏み出し、未来へ向け行動を起こしましょう。

交流室

渉外委員会事業計画

公益社団法人岡山青年会議所
2026年度交流室
渉外委員会
理事委員長 岸本 啓吾

現代社会は急速に変化しており、人と人とのつながりや交流の在り方も多様化しています。そうした中で、私たち岡山青年会議所は、直接出会い、語り合い、互いに学び合う機会の価値を改めて強く感じています。岡山青年会議所が長きに渡り、継承してきた礼儀礼節、思いやり、そしておもてなしの心は、時代を超えて受け継ぐべき重要な精神です。これらを土台とし、今の時代に沿う新しい手法を積極的に取り入れ、出会いと成長の場を創出していかなければなりません。

参加が形式的になりがちな近年、その場で何かを得ようとする姿勢が重要であると考えます。新年賀詞交歓会は、特別会員やご来賓、各地青年会議所の皆様に向けて、岡山青年会議所の本年度の在り方や活動を発信する重要な場です。そして岡山青年会議所が当年度をどのように活動していくかを量る大きな第一歩となります。出向者に対しては、活動の支援を行い、出向の意義や成果を共有し、出向への意欲を高める環境づくりに努めます。他 LOM との交流事業では、単なる交歓ではなく、それぞれの LOM がもつ価値観や特色に触れる機会を多様な視点で学びを得る場を提供します。それを明確にできる場が岡山ブロック大会の大懇親会です。そして ASPAC や世界会議については私たちがまず理解を深め、岡山青年会議所会員が参加したくなるような情報共有や、計画を実施いたします。さらに昭和 61 年生まれの卒業生が特別会員との交流の機会を設け、世代を超えた経験の継承を図るとともに、青年経済人としての成長意欲を刺激します。これらの活動を通じて、対内外とのつながりをもつことの価値を再認識し、一つでも多くの出会いと成長の機会を与えられるよう、手法を凝らし、内なる結束を深めていきます。

こうした交流の場をただの参加の場にせず、会員同士が対話を重ねることで、互いの価値を認め合い、支え合う文化が育まれます。また設営や準備に尽力する仲間への感謝と敬意をもつことで、組織としての成熟も促進されていきます。今こそ新たな一歩を踏み出し、未来へ向け行動を起こしましょう。

総務拡大戦略室

拡大・広報戦略委員会事業計画

公益社団法人岡山青年会議所
2026 年度総務拡大戦略室
拡大・広報戦略委員会
理事委員長 森田 貴統

岡山青年会議所では会員の入れ替わりと減少が進み、入会歴の浅い会員が増加する一方で、組織運営や事業推進に必要な経験の継承が課題となっております。また、社会全体の価値観や働き方の変化により、青年会議所活動への入会動機も多様化しており、従来の拡大方法では十分な会員拡大が難しい現状があります。その中で私たちは、地域における青年会議所の存在意義を明確に示し、活動の魅力を効果的に対外に発信することで新たな人材との出会いを創出していく必要があります。

本年度は、単なる会員数の増加ではなく多種多様な職種の人材を迎え入れることで、持続可能な成長を実現することを目的に、会員拡大と広報活動を一体的に推進してまいります。会員拡大では今までの対象者リストを整理するとともにアプローチを行い、特別会員や現役会員からの紹介や事業・交流会への参加を通じて、新会員候補者との接点を広げていき、候補者に対して岡山青年会議所の理念や活動内容を分かりやすく伝えることで、入会への意欲を高めていきます。そして、多くの市民の皆様が未来に向けた行動を起こすきっかけとなる市民公開例会を開催することで、候補者と接点をもつ機会を創出し会員拡大へとつなげてまいります。これらの取り組みの成果は、SNS や動画コンテンツを活用し年間を通じて広く発信してまいります。そして、岡山青年会議所の存在価値を高めるためには、ブランディング力が必要不可欠です。地域メディアとの関係構築にも力を入れ活動の意義や成果を積極的に発信し、社会から認められる組織としての信頼と認知を広げてまいります。

岡山青年会議所の運動や活動、理念・魅力を広く発信することで、同じ志をもつ新たな仲間を迎え、また多種多様な人材の入会は新たな発想や革新的な解決策を生み出し、組織の成長と地域社会への貢献を高め次世代への経験と精神の継承を重視することで、地域に不可欠な存在になると確信しております。この責任を全うし、仲間と共に力強く前進し、今こそ新たな一步を踏み出し未来へ向け行動を起こしましょう。

総務拡大戦略室

総務委員会事業計画

公益社団法人岡山青年会議所
2026 年度総務拡大戦略室
総 務 委 員 会
理 事 委 員 長 原 拓 矢

私たち岡山青年会議所は、一人ひとりの思いや行動が環となって生まれる運動や活動を通じて、地域の発展に寄与するために活動しています。その中で、全会員が安心して活動に専念できる環境を構築しなければなりません。そのために強固な基盤を築き、組織内部の規律と信頼を気づくことや、法令遵守、情報管理、記録整備などのコンプライアンスを徹底的に守り、会員が安心して活動できる環境づくりが私たちには求められています。

本年度の総務委員会は、公益団体であることを強く意識し、岡山青年会議所の屋台骨として組織の透明性・信頼性・安定性を高めることを最大の使命とし、地域社会に必要とされ続ける団体であるための内部体制の強化に全力を尽くします。総務委員会は委員会を支える役割を誰よりも意識し、皆が円滑に行動へ移せるよう支えていきます。また、財政・規則・公益を遵守する必要性があるために、各委員会の事業計画を事前に精査し、指摘事項を共有することで議案の精度を高め事業の質の向上に取り組んでまいります。理事会や総会の運営では、定款や諸規則に基づく適正な進进行を徹底し、組織運営の公正性と信頼性を確保します。また、予定者セミナーを通じて委員会の委員長、副委員長、幹事に各役職の職責を理解していただき、会員同士の連携を強化すると同時に、組織全体の意識統一を図ります。さらに、代表世話人会、シニアクラブ総会、歴代理事長会議などを通じて岡山青年会議所の歴史を学び、それを次世代へと継承し、今後の活動に生きる学びの多い設営を行います。岡山青年会議所の歩みや先人たちの想いを知ることは、現役会員にとって誇りにつながり、行動の原動力となります。

まず、総務委員会は、組織全体を俯瞰する視点を持ちながら、事業をより良い形にしていくために、各委員会との関わりを積極的に行い、全ての会員の行動を力強く支える土台となりましょう。これまでに築き上げた信頼をもとに、組織の屋台骨を担う誇りを胸に、仲間と共に今こそ新たな一歩を踏み出し、未来に向け行動を起こしましょう。

監事抱負

公益社団法人岡山青年会議所
監 事 久 保 和 裕

このたび、大北理事長より公益社団法人岡山青年会議所 2026 年度の監事という大役を仰せつかり、その重責を強く感じるとともに、身の引き締まる思いでおります。

現代社会はかつてない速度で変化し、地域課題は複雑かつ多様化し、求められるリーダー像も時代とともに変容しています。AI やデジタル技術の進展、価値観の多様化が進む今こそ、私たちは「何のために運動を行うのか」という原点に立ち返り、地域と社会から真に信頼され、必要とされる組織であり続けなければなりません。監事として、組織の透明性と健全性を確保する厳正な監査を行うのはもちろん、これまで培った経験と多角的な視点を活かし、理事長が掲げる未来像の実現に向けて全力で伴走してまいります。さらに、挑戦を恐れず行動する意志、互いを信じてつながる力こそが持続的な成長の源であると確信しております。だからこそ、対話を大切にしながら、仲間の挑戦や成長を力強く後押ししてまいります。今こそ新たな一歩を踏み出し、未来へ向け行動を起こしましょう。

最後に、特別会員・現役会員の皆様におかれましては、変わらぬご理解とご支援、そして一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

監事抱負

公益社団法人岡山青年会議所

監 事 中 西 大 輔

この度、大北理事長より 2026 年度公益社団法人岡山青年会議所の監事を拝命し、その重責に身の引き締まる思いでおります。JCI 岡山は歴史と伝統を誇る団体であり、その監事としての任務を果たすことは非常に光栄であるとともに、重要な役割を担う責任を感じております。監事として、私は組織運営に対して俯瞰的な立場から、理事長が掲げる理念が適切に反映されているかどうかを厳正に監査することをお約束します。また、これまでの活動を通じて得た経験を活かし、次代を担うメンバーへの伝承を大切にしたいと考えています。未来の岡山青年会議所を築くための基盤を作り上げることは、私にとって非常に重要な使命です。激動する現代において、さまざまな価値観や考え方が交錯する中でも、不易と流行を意識して、メンバー全員が共に成長できるようにサポートします。私たちの「環」を強く、広く、そして深く育てていき、それぞれの夢に向かって共に歩む一年となるよう尽力いたします。

最後になりますが、特別会員・現役会員の皆様におかれましては、変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。そして、今こそ新たな一步を踏み出し、未来へ向け行動を起こしましょう。

【会員研修委員会】

- ・ 会員拡大「前期新会員 2 名・後期新会員 2 名の獲得」
- ・ 変革の時代に相応しい手法による新会員研修のあり方の模索、実践
- ・ 青年経済人としての礼儀礼節・マナーの研修
- ・ JCI Creed・JCI MISSION・JCI VISION、JC 宣言
- ・ 綱領、岡山 JC 三信条及び長期ビジョンの啓蒙
- ・ 講師委員会の開催
- ・ 3 分間スピーチの実施
- ・ 団結して困難に立ち向かい、切磋琢磨しながら一つのことを為すことにより友情を築くプログラム の実施
- ・ LOM サービス事業の企画・運営を通して、礼儀礼節とおもてなしに溢れる設営や利他の精神を学ぶ プログラムの実施
- ・ コミュニティープラザの開催
- ・ 他委員会への委員会訪問の実施
- ・ 各連携協定団体への支援・協力
- ・ LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 第 62 回岡山ブロック大会への支援・協力

【こども未来育成委員会】

- ・ 会員拡大「前期新会員 2 名・後期新会員 2 名の獲得」
- ・ 地域の未来を担う人材育成事業の企画・実施
- ・ 青少年の可能性を広げ岡山の人材の行動力を育む事業の企画・実施
- ・ 各連携協定団体への支援・協力
- ・ LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 第 62 回岡山ブロック大会への支援・協力

【おかやま活性プロジェクト委員会】

- ・ 会員拡大「前期新会員 2 名・後期新会員 2 名の獲得」
- ・ 郷土おかやまの既存の魅力を更に広める地域活性化事業の企画・実施（案）
- ・ 魅力あふれるおかやまから新たな価値を創出する事業の企画・実施（案）
- ・ 災害時における対応 ・ 各連携協定団体への支援・協力
- ・ LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 第 62 回岡山ブロック大会への支援・協力

【地域連携価値創出委員会】

- ・ 会員拡大「前期新会員 2 名・後期新会員 2 名の獲得」
- ・ 地域連携の環を強化する事業の企画・実施
- ・ 他団体との連携の環を強化する事業の企画・実施
- ・ 各連携協定団体への支援・協力
- ・ LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 第 62 回岡山ブロック大会への支援・協力

【うらじゃ委員会】

- ・ 会員拡大「前期新会員 2 名・後期新会員 2 名の獲得」
- ・ うらじゃ開催支援広告募集事業の企画・実施
- ・ うらじゃ振興活動の企画・実施
- ・ 第 31 回うらじゃ実行委員会への参画
- ・ うらじゃ振興会への参画
- ・ うらじゃ実行委員会 総務部会業務マニュアルの更新
- ・ 報道機関への対応および行政・報道機関意見交換会の検討・実施
- ・ 各連携協定団体への支援・協力
- ・ LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 第 62 回岡山ブロック大会への支援・協力

【例会委員会】

- ・ 会員拡大「前期新会員 2 名・後期新会員 2 名の獲得」
- ・ 例会の企画・設営・実施
- ・ 岡山ブロック協議会会長公式訪問例会の企画・設営・実施
- ・ 企画例会の企画・設営・実施
- ・ 特別会員・現役会員合同例会の企画・設営・実施
- ・ 卒業生の記憶に残る例会の企画・設営・実施
- ・ 各連携協定団体への支援・協力
- ・ LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力 ・ 「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 第 62 回岡山ブロック大会式典の企画・設営・実施

【渉外委員会】

- ・ 会員拡大「前期新会員 2 名・後期新会員 2 名の獲得」
- ・ 特別会員・現役会員合同新年賀詞交歓会の企画・設営・実施
- ・ 出向者を支援する事業の企画・設営・実施
- ・ 第 62 回岡山ブロック大会第懇親会の企画・設営・実施
- ・ スポンサー LOM・友好 LOM との連絡調整及び交歓会の企画・設営・実施
- ・ 姉妹 LOM との積極的交流の推進
- ・ 昭和 61 年生まれ卒業事業の企画・設営・実施
- ・ ASPAC、世界会議への積極的参加を促す手法の検討・構築及び参加の取りまとめ ・ 各連携協定団体への支援・協力
- ・ LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 第 62 回岡山ブロック大会式典の企画・設営・実施

【拡大・広報戦略委員会】

- ・ 会員拡大「前期新会員 3 名・後期新会員 3 名の獲得」
- ・ LOM が拡大しやすいように協力
- ・ 市民公開例会の企画・設営・実施
- ・ 新年賀詞の記者会見
- ・ 対内・対外的な広報の見直し及び検討・実施
- ・ LOM における広報スタンダードの確立
- ・ 広報誌「暖流」の発行
- ・ ホームページの制作・運用
- ・ 報道機関や行政への対応
- ・ 各連携協定団体への支援・協力
- ・ LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 第 62 回岡山ブロック大会への支援・協力

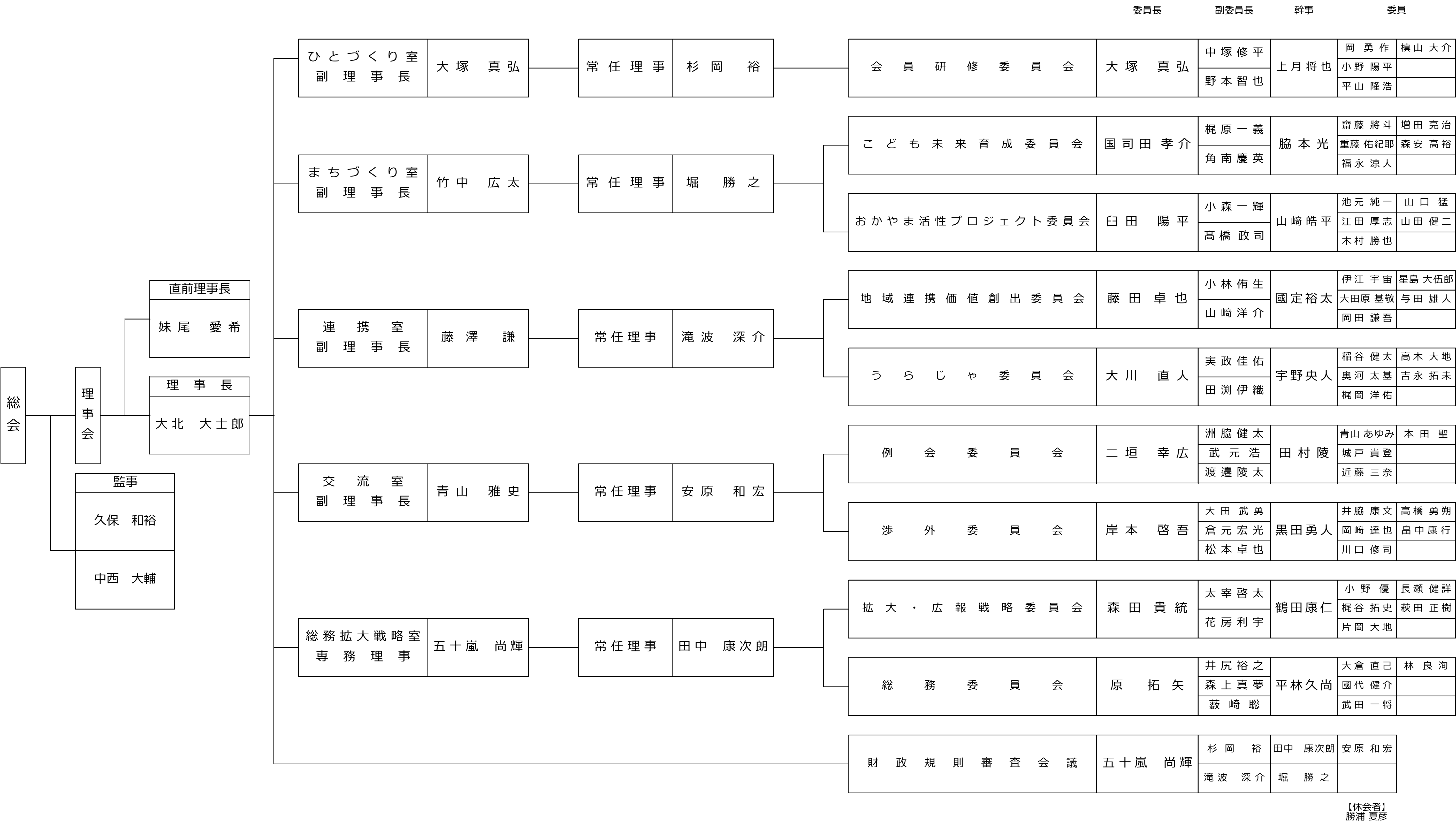
【総務委員会】

- ・ 会員拡大「前期新会員 2 名・後期新会員 2 名の獲得」
- ・ 会計経理事務及び慶弔関係事務の実施、庶務規則に沿った事務局運営
- ・ 総会、執行部会議、理事会の設営・運営と議事録並びに会議録の作成・管理
- ・ 各委員会事業計画、収支予算、補正予算並びに事業報告、収支決算の内容精査と各会議への上程資料精査
- ・ 議案上程方法の見直しとデジタル会議運営の推進
- ・ 収支予算書、収支決算書の作成並びに修正予算、補正予算、中間決算の実施
- ・ 2026 年度基本資料、事業報告書、会員手帳の作成及び追加
- ・ LOM 年間スケジュールの作成・確認
- ・ 理事長公職の整理・調整
- ・ 個人情報の管理及び管理データの見直し
- ・ 理事合宿、理事委員長・副委員長・幹事予定者セミナー、議案書セミナーの企画・設営・開催
- ・ 委員会費監査等の実施
- ・ シニアクラブ総会、世話人会、歴代理事長会議の設営・開催
- ・ 岡山ブロック JC シニアクラブの設営・開催
- ・ 日本 JC への入会促進 ・ JCCS への登録促進
- ・ JC ルーム・倉庫内の備品管理と発注 ・ 情報公開の精査と実施
- ・ 事業報告書のデータ保存・管理
- ・ LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援・協力
- ・ 「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 第 62 回岡山ブロック大会への支援・協力

公益社団法人岡山青年会議所

2026年度

組織図



公益社団法人日本青年会議所

2026 年度 出向者

地域グループ

地域ブランド確立委員会

委員長

藤澤 謙

統括幹事

高木 大地

委員

小野 優

薮崎 聡

槇山 大介

森安 高裕

国際グループ

JCI 関係委員会

副委員長

大塚 真弘

委員

梶原 一義

大田原 基敬

堀 勝之

長瀬 健詳

総務グループ
対内ブランド戦略委員会

広報幹事
太宰 啓太

委員
増田 亮治
岡崎 達也

国家グループ
安全な社会確立委員会

広報幹事
井尻 裕之

委員
稲谷 健太
江田 厚志

レジリエンス強化委員会

委員
平山 隆浩

社会グループ

TOYP 委員会

委員

池元 純一

公益社団法人日本青年会議所

2026 年度 中国地区協議会 出向者

監査担当役員

杉岡 裕

地区役員幹事

山田 健二

岡田 謙吾

公益社団法人日本青年会議所
中国地区 岡山ブロック協議会
2026 年度 出向者

副会長

中西 大輔

副会長幹事

本田 聖

財政局長

田中 康次朗

財政局長補佐

高橋 政司

ブロック大会実行委員会

委員長

安原 和宏

拡大ブランディング会議

副委員長

花房 利宇

委員

大田 武勇

誇りある JAYCEE 育成委員会

副委員長

角南 慶英

委員

川口 修司

FCP 推進委員会

副委員長

渡邊 陵太

委員

齋藤 將斗

環境未来デザイン委員会

副委員長

田淵 伊織

委員

福永 涼人

公益社団法人日本青年会議所
2026 年度 理事長セクレタリー

チーフセクレタリー

小森 一輝

セクレタリー

重藤 佑紀耶

奥河 太基

公益社団法人岡山青年会議所

2026 年度 役員選挙管理委員会メンバー

委員長

久保 和裕

副委員長

井脇 康文

幹事

重藤 佑紀耶

委員

青山 あゆみ

伊江 宇宙

片岡 大地

公益社団法人 岡山青年会議所
収支予算書
2026年1月1日から2026年12月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入	3,000	3,000	0	
特定資産利息収入	3,000	3,000	0	
②受取入会金収入	1,500,000	2,000,000	-500,000	
受取入会金収入	1,500,000	2,000,000	-500,000	
③会費収入	21,895,000	22,490,000	-595,000	
正会員会費収入	18,720,000	19,440,000	-720,000	
特別会員会費収入	2,800,000	2,800,000	0	
特別会員積立金収入	375,000	250,000	125,000	
④事業収入	45,007,500	60,308,420	-15,300,920	
登録料収入	17,947,500	27,281,920	-9,334,420	
販売収入	0	308,000	-308,000	
寄付金収入	1,980,000	0	1,980,000	
広告料収入	25,080,000	32,718,500	-7,638,500	
⑤受取補助金等収入	0	0	0	
⑥受取負担金収入	0	0	0	
⑦受取寄付金収入	150,000	1,185,450	-1,035,450	
受取寄付金収入	150,000	1,185,450	-1,035,450	
受取募金収入	0	0	0	
⑧雑収入	300	300	0	
受取利息収入	300	300	0	
雑収入			0	
事業活動収入計	68,555,800	85,987,170	-17,431,370	
2. 事業活動支出	0	0	0	
①事業費支出	0	0	0	
事業費支出	0	0	0	
②管理費支出	67,554,461	83,847,831	-16,293,370	
総務費支出	300,000	300,000	0	
事務所費支出	3,000,000	3,000,000	0	
会議費支出	0	0	0	
人材派遣支出	1,920,000	1,920,000	0	
退職給付手当支出	0	0	0	
福利厚生費支出	0	0	0	
会場設営費	10,900,830	19,623,060	-8,722,230	
企画・演出費	14,968,557	12,983,799	1,984,758	
本部団関係費	163,900	675,150	-511,250	
講師関係費	1,462,480	7,324,340	-5,861,860	
広報費	4,775,823	6,184,529	-1,408,706	
資料作成費	66,000	66,000	0	
報告書作成費	71,500	214,648	-143,148	
参加記念品費	1,078,000	1,224,455	-146,455	
事務委託費支出	880,000	880,000	0	
旅費交通費支出	0	0	0	
通信費支出	1,005,514	997,980	7,534	
印刷費支出	600,000	600,000	0	
消耗品支出	350,000	350,000	0	
光熱水料金支出	0	0	0	
会員費支出	2,000,000	2,000,000	0	
例会費支出	0	0	0	
広報費支出	0	0	0	
特別会員費支出	150,000	150,000	0	
修繕支出	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
渉外費	309,961	309,961	0	
J C I 渉外費	297,000	309,000	-12,000	
備品購入支出	100,000	100,000	0	
雑支出	100,000	100,000	0	
賃借料	0	581,020	-581,020	
保険料	117,933	365,257	-247,324	
諸謝金	0	0	0	
委託費	0	0	0	
助成金	0	0	0	
寄付金	0	0	0	
接待交際費	0	0	0	
雑費	21,490,406	21,425,766	64,640	
予備費	1,446,557	2,162,866	-716,309	
③負担金支出	2,042,884	2,140,788	-97,904	
加盟団体会費支出	2,042,884	2,140,788	-97,904	
④他会計への繰入金支出	0	0	0	
他会計への繰入金支出	0	0	0	
事業活動支出計	69,597,345	85,988,619	-16,391,274	
事業活動収支差額	-1,041,545	-1,449	-1,040,096	
科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
保証金戻り収入			0	
投資活動収入計			0	
2. 投資活動支出計			0	
①特定資産取得支出	0	0	0	
積立引当財産支出		0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
①借入金収入			0	
財務活動収入計			0	
2. 財務活動支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	-1,041,545	-1,449	-1,040,096	
前期繰越収支差額				
次期繰越収支差額				

公益社団法人 岡山青年会議所
正味財産増減計算書
2026年1月1日から2026年12月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	予算額（公益）	予算額(共益等)	前年度予算額	差額
一般正味財産増減の部					
経常収益					
基本財産運用益	3,000	3,000		3,000	0
基本財産受取利息	3,000	3,000		3,000	0
特定資産運用益					0
特定資産受取利息					0
受取入会金	1,500,000	750,000	750,000	2,000,000	660,000
受取入会金	1,500,000	750,000	750,000	2,000,000	-500,000
受取会費	21,895,000	10,947,500	10,947,500	22,490,000	0
正会員受取会費	18,720,000	9,360,000	9,360,000	19,440,000	291,115
特別会員受取会費	2,800,000	1,400,000	1,400,000	2,800,000	0
特別会員積立金収入	375,000	187,500	187,500	250,000	125,000
事業収益	45,007,500	28,582,500	16,425,000	60,308,420	-15,300,920
青少年育成事業収益	740,000	740,000	0	3,075,000	-2,335,000
人材育成事業収益	1,222,500	1,222,500	0	2,500,000	-1,277,500
地域活性化事業収益	26,620,000	26,620,000	0	38,551,500	-11,931,500
会員研修事業収益	16,425,000	0	16,425,000	16,181,920	243,080
受取補助金等					0
受取国庫補助金	0	0		0	0
受取負担金	0	0		0	0
受取負担金	0	0		0	0
受取負担金振替額					
受取寄付金	150,000	75,000	75,000	1,185,450	-1,035,450
受取寄付金	150,000	75,000	75,000	1,185,450	-1,035,450
募金収益					
受取寄付金振替額					
雑収益	300	150	150	300	0
受取利息	300	150	150	300	0
有価証券運用益	0			0	0
雑収益	0			0	0
経常収益計	68,555,800	40,358,150	28,197,650	85,987,170	-15,676,370
経常費用					
事業費	62,850,500	41,058,500	21,792,000	79,131,870	-16,281,370
給料手当	0	0	0	0	0
人材派遣費	1,728,000	1,536,000	192,000	1,728,000	0
接待交際費	0	0	0	0	0
会場設営費	10,900,830	3,624,690	7,276,140	19,623,060	-8,722,230
企画・演出費	14,968,557	3,988,232	10,980,325	12,983,799	1,984,758
本部団関係費	163,900	97,900	66,000	675,150	-511,250
講師関係費	1,462,480	1,382,480	80,000	7,324,340	-5,861,860
広報費	4,775,823	4,287,803	488,020	6,184,529	-1,408,706
資料作成費	66,000	0	66,000	66,000	0
報告書作成費	71,500	0	71,500	214,648	-143,148
渉外費	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	581,020	-581,020
参加記念品費	1,078,000	430,000	648,000	1,224,455	-146,455
保険料	117,933	77,933	40,000	365,257	-247,324
通信運搬費	935,514	843,514	92,000	927,980	7,534
減価償却費	0	0	0	0	0
什器備品費	90,000	80,000	10,000	90,000	0
消耗品費	315,000	280,000	35,000	315,000	0
印刷製本費	540,000	480,000	60,000	540,000	0
賃借料	2,700,000	2,400,000	300,000	2,700,000	0
諸謝費	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0
支払負担金	0	0	0	0	0
支払助成金	0	0	0	0	0
支払寄付金	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
有価証券運用費	0	0	0	0	0
雑費	21,490,406	20,950,495	539,911	21,425,766	64,640
予備費	1,446,557	599,453	847,104	2,162,866	-716,309
管理費	6,746,845		6,746,845	6,856,749	-109,904
給料手当	0		0	0	0
人材派遣費	192,000		192,000	192,000	0
接待交際費	0		0	0	0
福利厚生費	0		0	0	0
旅費交通費	0		0	0	0
通信運搬費	70,000		70,000	70,000	0
減価償却費	0		0	0	0
什器備品費	10,000		10,000	10,000	0
消耗品費	35,000		35,000	35,000	0
印刷製本費	60,000		60,000	60,000	0
燃料費	0		0	0	0
光熱水料費	0		0	0	0
賃借料	300,000		300,000	300,000	0
保険料	0		0	0	0
諸謝費	0		0	0	0
租税公課	0		0	0	0
支払負担金	2,042,884		2,042,884	2,140,788	-97,904
支払助成金	0		0	0	0
支払寄付金	0		0	0	0
委託費	3,330,000		3,330,000	3,330,000	0
有価証券運用費	0		0	0	0
雑費	706,961		706,961	718,961	-12,000
経常費用計	69,597,345	41,058,500	28,538,845	85,988,619	-16,391,274
当期経常増減額	-1,041,545	-700,350	-341,195	-1,449	714,904
当期一般正味財産増減	-1,041,545	-700,350	-341,195	-1,449	714,904
一般正味財産期首残高					0
一般正味財産期末残高					

公益目的事業比率	41,058,500	=	0.590
	69,597,345		

公益社団法人 岡山青年会議所
正味財産増減計算書内訳表

(単位：円)

科目	公益目的事業					収益事業等		法人会計	内部取引	合計
	公1	公2	公3	共通	小計	他1	小計			
	青少年育成	人材育成	地域活性化			会員研修				
一般正味財産増減の部										
経常収益										
基本財産運用益				3,000	3,000					3,000
基本財産受取利息				3,000	3,000					3,000
受取入会金				750,000	750,000	375,000	375,000	375,000		1,500,000
受取入会金				750,000	750,000	375,000	375,000	375,000		1,500,000
受取会費				10,947,500	10,947,500	5,473,750	5,473,750	5,473,750		21,895,000
正会員受取会費				9,360,000	9,360,000	4,680,000	4,680,000	4,680,000		18,720,000
特別会員受取会費				1,400,000	1,400,000	700,000	700,000	700,000		2,800,000
特別会員積立金収入				187,500	187,500	93,750	93,750	93,750		375,000
事業収益	740,000	1,222,500	26,620,000		28,582,500	16,425,000	16,425,000			45,007,500
青少年育成事業収益	740,000				740,000		0			740,000
人材育成事業収益		1,222,500			1,222,500		0			1,222,500
地域活性化事業収益			26,620,000		26,620,000		0			26,620,000
会員研修事業収益					0	16,425,000	16,425,000			16,425,000
受取補助金等					0		0			0
受取国庫補助金					0		0			0
受取負担金					0		0			0
受取負担金					0		0			0
受取負担金振替額					0		0			0
受取寄付金	0	0	0	75,000	75,000	37,500	37,500	37,500		150,000
受取寄付金	0	0	0	75,000	75,000	37,500	37,500	37,500		150,000
雑収益				150	150	75	75	75		300
受取利息				150	150	75	75	75		300
有価証券運用益					0					0
雑収益					0					0
経常収益計	740,000	1,222,500	26,620,000	11,775,650	40,358,150	22,311,325	22,311,325	5,886,325		68,555,800
経常費用										
事業費	2,531,504	2,569,340	35,957,656		41,058,500	21,792,000	21,792,000			62,850,500
給料手当	0	0	0		0	0	0			0
人材派遣料費	98,304	99,840	1,337,856		1,536,000	192,000	192,000			1,728,000
会場設営費	717,870	211,300	2,695,520		3,624,690	7,276,140	7,276,140			10,900,830
企画・演出費	537,876	206,000	3,244,356		3,988,232	10,980,325	10,980,325			14,968,557
本部団関係費	97,900	0	0		97,900	66,000	66,000			163,900
講師関係費	20,000	1,362,480	0		1,382,480	80,000	80,000			1,462,480
広報費	424,740	296,220	3,566,843		4,287,803	488,020	488,020			4,775,823
資料作成費	0	0	0		0	66,000	66,000			66,000
報告書作成費	0	0	0		0	71,500	71,500			71,500
渉外費	0	0	0		0	0	0			0
旅費交通費	0	0	0		0	0	0			0
参加記念品費	175,000	0	255,000		430,000	648,000	648,000			1,078,000
保険料	44,360	0	33,573		77,933	40,000	40,000			117,933
通信運搬費	54,623	36,840	752,051		843,514	92,000	92,000			935,514
減価償却費	0	0	0		0	0	0			0

公益社団法人岡山青年会議所 2026年度理事長公職

岡山県青少年育成県民会議 理事

岡山県FOS少年団連盟 理事

社会福祉法人岡山県共同募金会 評議員

岡山中央暴力追放推進協議会 会員

岡山県西暴力追放推進協議会 会員

「小さな親切」運動岡山本部 役員

第76回“社会を明るくする運動”岡山県推進委員会 委員

国立吉備少年自然の家 施設業務運営委員会 委員

岡山市交通安全対策協議会 委員

岡山国際音楽祭実行委員会 実行委員

公益財団法人岡山市公園協会 評議員

春の花いっぱい運動 主催団体

おかやま桃太郎まつり運営委員会 理事

MOMOTAROH FANTASY 実行委員会 実行委員長

2026マーチング・イン・オカヤマ実行委員会 副実行委員長

「心豊かな岡山っ子」応援団 団員

岡山市オレンジリボンキャンペーン実行委員会 実行委員

岡山市ジュニアオーケストラ後援会 理事

岡山っ子育成条例推進会議 委員

旭川かわまちづくり計画事業推進会議 委員岡山県日韓親善協会 理事

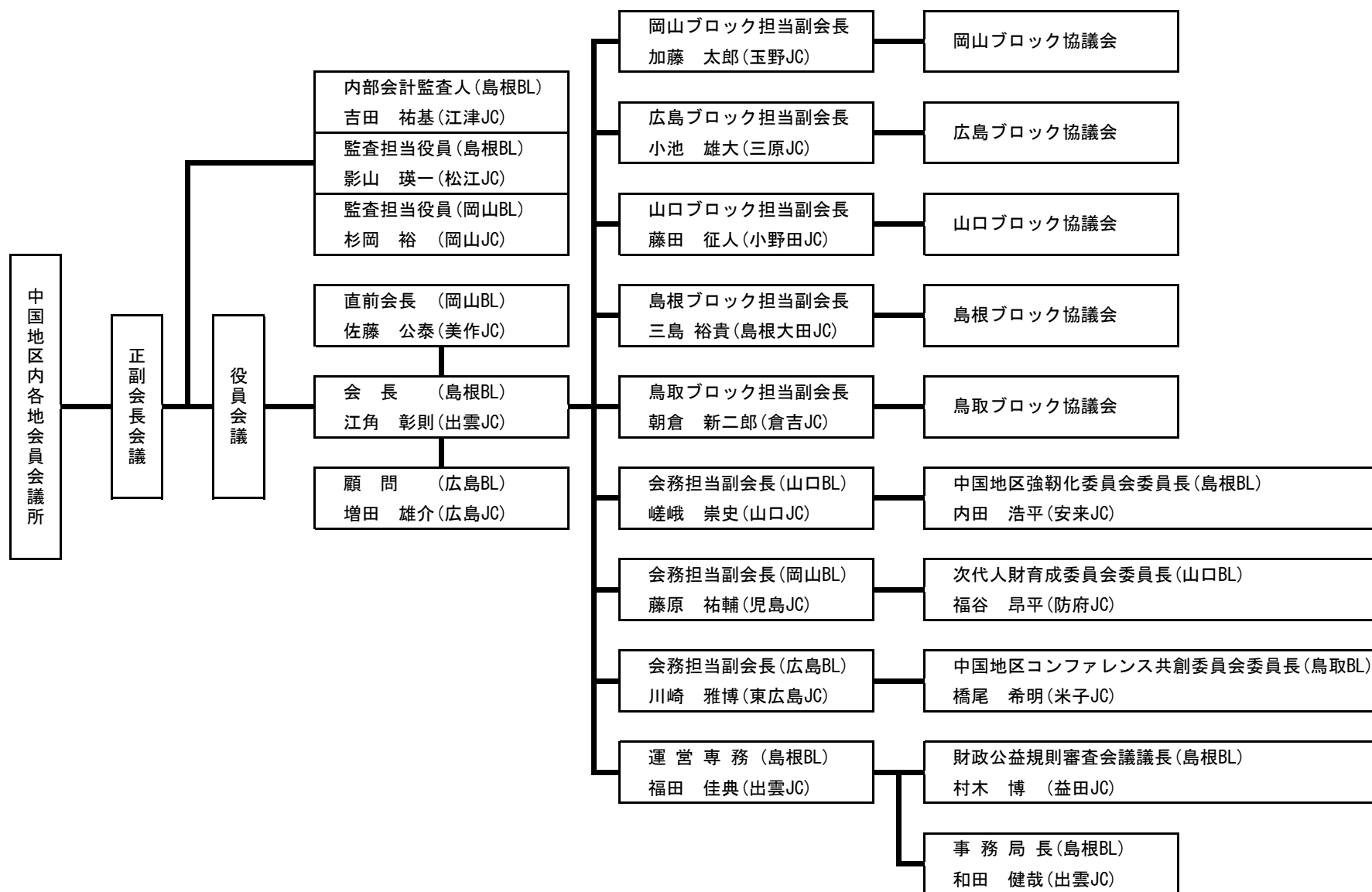
岡山県警察友の会 会員

「6月1日岡山市民の日」推進協議会 理事

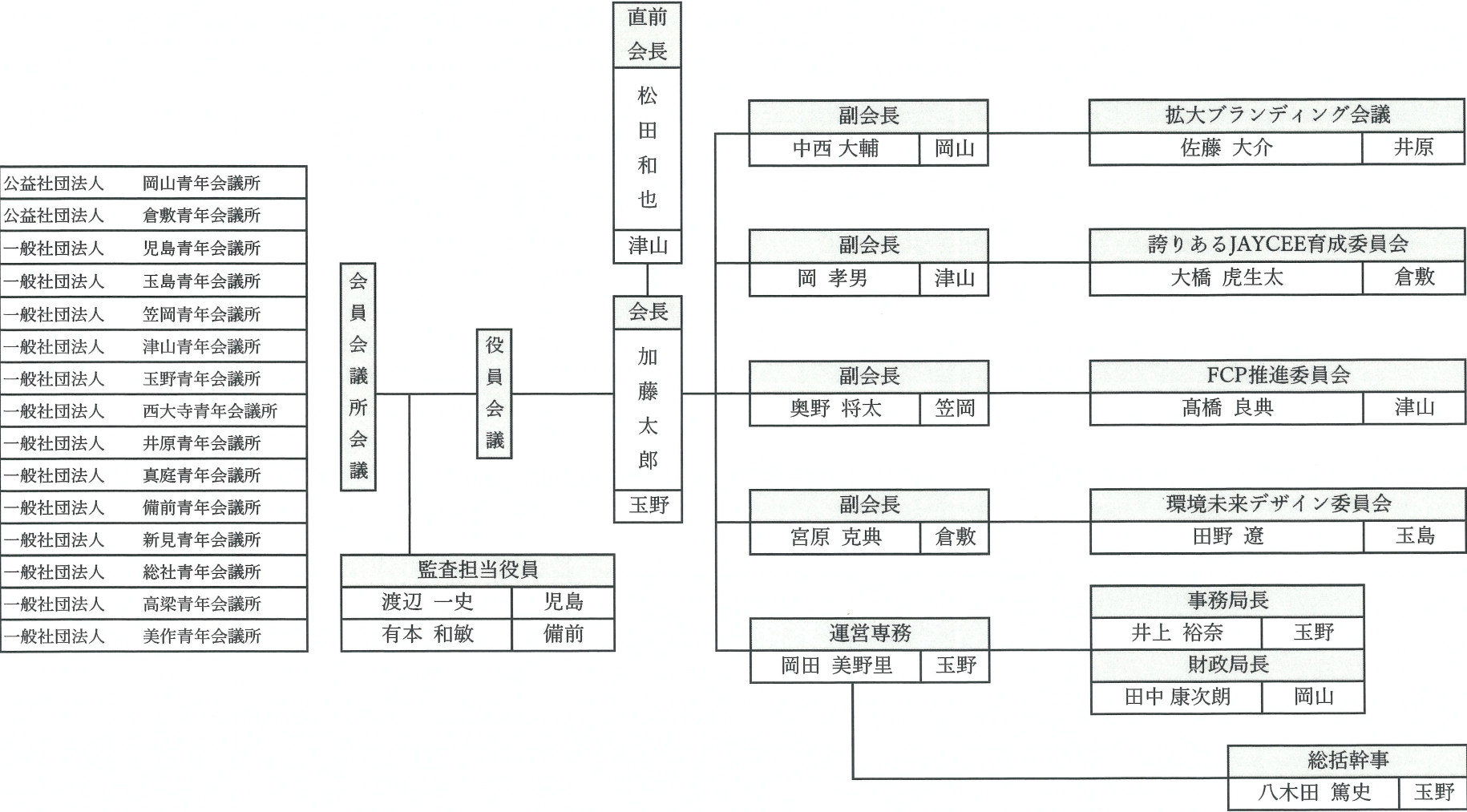
公益社団法人日本青年会議所
2026年度 基本資料
組織図



公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 2026年度 役員組織図



2026年度 岡山ブロック協議会 組織図



公益社団法人岡山青年会議所 歴代理事長

初代	1951年	江見祐吉	第39代	1989年	若林昭吾
第2代	1952年	江見祐吉	第40代	1990年	中島康博
第3代	1953年	松田基	第41代	1991年	永野資幸
第4代	1954年	松田基	第42代	1992年	松田久
第5代	1955年	服部好郎	第43代	1993年	服部恭一郎
第6代	1956年	稲田洋一	第44代	1994年	柳井淳
第7代	1957年	藤木昌二	第45代	1995年	森下矢須之
第8代	1958年	池田徳五郎	第46代	1996年	西康宏
第9代	1959年	庭瀬欣一郎	第47代	1997年	梶谷俊介
第10代	1960年	松田堯	第48代	1998年	稲荷泰瑛
第11代	1961年	関種雄	第49代	1999年	永山久人
第12代	1962年	西下賢治	第50代	2000年	黒瀬仁志
第13代	1963年	逢沢英雄	第51代	2001年	西川智晴
第14代	1964年	石原真臣	第52代	2002年	岡崎正裕
第15代	1965年	小林達也	第53代	2003年	藤原史暁
第16代	1966年	中島輝夫	第54代	2004年	梶原康彦
第17代	1967年	黒瀬友近	第55代	2005年	八木一成
第18代	1968年	小林稔	第56代	2006年	占部守弘
第19代	1969年	奥山勝太郎	第57代	2007年	吉村武大
第20代	1970年	中島博	第58代	2008年	石田敦志
第21代	1971年	木原佑一	第59代	2009年	永山雅己
第22代	1972年	黒瀬敦美	第60代	2010年	岸本浩二
第23代	1973年	中野英一	第61代	2011年	中山賢太郎
第24代	1974年	徳元秀臣	第62代	2012年	有松林太郎
第25代	1975年	福武和彦	第63代	2013年	尾崎茂
第26代	1976年	片山義久	第64代	2014年	鈴森賢史
第27代	1977年	伊原木一衛	第65代	2015年	久松朋史
第28代	1978年	石田規夫	第66代	2016年	佐野範一
第29代	1979年	藤原敬介	第67代	2017年	高見宣哉
第30代	1980年	前坂匡紀	第68代	2018年	青木浩平
第31代	1981年	服部弘平	第69代	2019年	古市聖一郎
第32代	1982年	野津喬	第70代	2020年	高山晃一
第33代	1983年	岡崎彬	第71代	2021年	小林佑輔
第34代	1984年	滝澤輝治	第72代	2022年	石井聖至
第35代	1985年	小嶋光信	第73代	2023年	安部真良
第36代	1986年	末長範彦	第74代	2024年	大森将平
第37代	1987年	伊原木省五	第75代	2025年	妹尾愛希
第38代	1988年	池田金治郎			

(敬称略)

J C 宣言文

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う